



自民党栃木県第4選挙区支部長/衆議院議員

佐藤 勉 (さとう つとむ)

昭和27年6月20日生まれ(71歳)。34歳、県議会議員初当選。44歳、県議3期目任期中に衆議院選挙に出馬し、初当選。以降、衆議院選挙9期連続当選し、現在に至る。

【略歴】自由民主党総務会長、衆議院憲法審査会長、衆議院国家基本政策委員長、衆議院議院運営委員長、衆議院国会対策委員長、総務大臣、国家公安委員会委員長等を歴任。

【趣味】ゴルフ・映画鑑賞。

自民党存亡の危機

元旦に発生した石川県能登半島地震、翌日に発生した日本航空航空機と海上保安庁航空機の衝突事故によりお亡くなりになられた皆さまに心よりお悔やみ申し上げますとともに被災された皆さまにお見舞い申し上げます。被災地にて支援・支援活動にご尽力いただいている方々に深く感謝申し上げます。

大変な幕開けとなりましたが、昨年末より自民党においても派閥の政治資金事件により党の根幹を揺るがす事態になっています。新年早々に総裁直属の『政治刷新本部』が新設されましたが、いくつかの派閥の長が役員をつとめ、メンバーの多くも派閥所属議員であることから、本気度を問われる人選となりました。

そんな中 岸田総理自ら、自身が直前まで会長をつとめていた『宏池会』の解散に踏み切り、各派の解散をうながした点については一定の評価をすべきと思います。

過去に派閥に属した者として、若手議員の教育の場としては存在意義を感じていましたが資金集めとポスト配分の色合いが強くなっている点は、即刻解消されるべきです。

そもそも『政治とカネ』の問題は、国会議員それぞれの問題であり、各自が適切な処理をしなければならず、過ちがあった場合は、自ら率先して説明責任を果たさなければいけません。

支持率が急落するなか、総裁任期が今年9月、衆院選任期が来年10月にせまり、自民党にとって大きな決断を求められる年となります。

私も慎重にさまざまな判断をしていきたいと思っております。



国会議事堂マメ知識①



国会議事堂は約90年前の1936年(昭和11年)に完成した建物です。1920年(大正9年)より着工し、完成までに17年間かかっている、建築に携わった工事者の人数は延べ254万人にのぼるそうです。

真ん中の中央棟を挟んで、正面から見て左側が衆議院、右側が参議院となっています。線対称に作られているため、衆議院側・参議院側で基本的には同じつくりとなっていますが国会の開会式で天皇陛下をお迎えする関係上、参議院の本会議場のつくりが一部(陛下がお座りになる御座所の配置など)異なります。

鉄骨鉄筋コンクリート造りで、大量の花崗岩(かこうがん)がつかわれていて、国会議事堂にしようされる石を30cmの立方体にして積み上げると、富士山の30倍の高さになるそうです。

さとう勉事務所

✉ ご意見・ご質問は、こちらへ → g02103@shugiin.go.jp

Web や SNS でも
情報発信しています



ホームページ



Instagram



Facebook

小山
事務所

TEL : 0285-25-7878
FAX : 0285-25-7900
〒323-0014
栃木県小山市喜沢 84

真岡
事務所

TEL : 0285-83-7788
FAX : 0285-83-7786
〒321-4305
栃木県真岡市荒町 3-45-7
コスモシティ101号室



国へ 未来へ 次世代へ つなぐ。

討議資料